

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	~	29日(木) 21時
市町村名	池田町	グループ名	1班

要旨

地域高規格道路松本系魚川連絡道路池田町意見交換会 第1グループ

開催日時

第1回 10月 3日(水) 第2回 10月24日(水) 第3回 11月12日

《合同報告会発表原稿》

[賛成意見(条件付賛成含む)]

町の発展のために必要。鉄道もなく交通の面で不便である。交通手段を車に代えることも可能ではないか。生活道路の改善となると、直接費用負担をしなければならず町の費用がかかるので、高規格道路を造ってもらった方が良いのではないか。

現在、交通が不便である。高規格ではなく高速道路を通してほしい。大北は距離の割に通行に時間がかかる。

環境等の問題をクリアしながら、将来について考える必要がある。現在、自分の生活にも支障をきたしている。困っている状況について考えるべきではないか。観光も生活の一部であり移動の時間を短縮することは必要である。

出来れば作ってほしい。川を利用して堤防内に作る。そうすると景観に配慮できるのではないか。融雪は塩カルに頼らなくても良い方法があると思う。池田が反対してもどこかには造るのだから、それならば池田に作った方が良い。

基本的に賛成。冬場の渋滞はひどい。災害等が発生した場合も対応が出来ない。景観については十分配慮できる方法があるのではないか。

将来の子供達のことを考えると必要だと思う。松本に行くにもかなり時間がかかる。JRがなくなると交通手段がないので、高規格道路を利用したバスでの輸送を考えていく必要がある。池田として高規格道路をどう作って欲しいかを検討したらどうか。池田側に通して頂き、堤防に作れば森林を破壊することも無く済む。池田側には病院もあり便利である。池田と追分の2カ所にI.Cを作ってほしい。

賛成。松川側にはオリンピック道路があるので、池田側に作ってほしい。

生活道路の改善は困難であるので、高規格道路は必要である。車なしでは生活出来ないなので、発展させるべき。悪影響も留意すべきだが、池田町にとってこの道が必要であることを認識すべき。

必要である。市町村合併・JRの廃線等のことを考えると高規格道路は必要となってくるのではないか。現実的な問題をひとつずつクリアして考えるべき。

必要である。雇用問題の面でも必要。公害の面でもより有効ではないか。堤防内に道路は作れないが、堤防を動かして外側に作れるのではないか。川を狭くする方法はとれないか。

通勤に必要である。

高瀬川左岸道路は一方通行で道路として意味がない。左岸道路の対面通行化などが必要。人や自転車が通れるようにしてほしい。東西の道路が必要。JRは残してほしい。

ルートC案が良い。高規格道路は必要。道路行政は目先だけでなく100年先をみこした考えをしてほしい。

大町以北に道路は必要。自動車専用の道路は必要。全体として高規格道路は必要。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	~	29日(木) 21時
市町村名	池田町	グループ名	1班

要旨

池田町に道を作ってほしい。従来の計画は反対。左岸を高規格道路として作ってほしい。糸魚川の海やインターに早く行けるようになる。自動車専用道路は必要。

高規格道路を是非、池田町に通してほしい。池田町は不便である。冬期の白馬の渋滞を緩和するためにも必要。

大町以南は道がある。大町以北は道がない。大町には道路が必要。

環境面の問題もあるが、池田としては必要ではないか。

個人的には左岸に高規格道路を作るのは反対だが、町の発展を考えると反対もしてられない。人口もなかなか増えない現状があるので、道が出来れば産業も増え発展する。賛成する。

生活道路の改善は財政的にも難しい。それよりも高規格道路という方法が有効である。

大規模地震に備えて堤防の整備と一体化して、左岸に道路を作れば良い。(堤防内に)

環境、景観については大事な問題であるので、十分に検討し、なるべく壊さない様に作れば良い。

オリンピック道路が出来たので、こういった道路は出来ないと思っていたが、ぜひ作っていただきたい。病院間のアクセスも大切である。

景観については今の堤防を見てもそんなに影響が出るとは思えない。財政のことも公共事業や社会資本の整備によって民間等で景気が良くなると税金も入ってこないのではないか。

【反対意見】

全ての交通手段を考えて検討するべき。(JR、空路等) 高速道路もそうである。環境を破壊することを十分考えるべき(水など)

長期的に考える必要がある。後生に大きな負担かかる。人口比率も変わって来る。必要なものに投資する。建設業は国、県の負担で市町村の負担が軽いといっても結局は国民一人ひとりの負担である。安曇野にほとんど渋滞はなく、高規格道路は必要ない。経済状態を考えても全く必要ない。

基本的に反対。松川山麓に作ると聞いていたので景観的に見ても良くない。場所が変わったとしても土地を壊してしまう。現状の道路で十分ではないか。

生活道路を作ることにについては賛成である。だが財政的にもきびしい時には大きな負債を残して良いのか。また現在の生活を圧迫してまで作る必要があるのかどうか。高規格道路にお金をかけるよりも生活道路を改善した方が良い。高規格道路より生活道路に力を入れるべき。

生活道路の改善は困難というが、左岸の道路も生活道路であり、そういった道路は十分改善できる。その様な改善で十分今の交通の問題点は良くなるのではないか。

自分の住んでいる場所の環境が心配である。景観、騒音問題が悪化するのではないか。暴走族等が心配である。リスクがかなり大きい。それぞれの問題をクリアして解決できるかどうか。

大町以南は現在の道路の改修でよい。既存道路の自転車道及び歩道の整備が必要。

塩害の問題、工事区間(大町~糸魚川、大町以南)によって工事の期間に差が出る。地下水にも影響が出る。大町~糸魚川間の工事を早期に進めて欲しい。道路工事地元の業者へ。道路降りてからのアプローチ。今生まれた子供が借金をすることになる。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	~	29日(木) 21時
市町村名	池田町	グループ名	1班

要旨

木崎付近では青木湖にバイパス出来た結果商店が1軒以外つぶれてしまった。道の出来たことにより商店等がなくなってしまった。観光面でも同様である。池田町も観光に魅力がないと寂れてしまう。池田町にインターができた場合、今ある商店や美術館等だめになってしまう可能性がある。魅力あるものを(商店・観光等)作っていくべき。

町としては高規格道路としてより一般道を整備した方が良い。

贅沢はきりが無い。環境破壊して道路を作らなくても現状で十分である。道は基本的に1本あればよい。非常時にはヘリを飛ばせばよい。

将来に借金を残すのではなく、環境、景観を将来に残したい。

[その他]

次の世代に本当に必要なのかどうか十分な検討が必要(環境的など)その上で問題がクリアできるならばつくればよい。

長野県は災害時に交通が麻痺してしまう。それには北陸道から長野県に入る道を確保するべきで、JRと今後どうなるか分からない。環境の問題クリアできるのか。

基本的には道路は必要だと思うが、事業費が非常にかかり町民に相当負担をかけるので、将来本当に必要なのかどうか、介護面、財政面等を含め十分に検討するべき。

景観は変わっていくものであるので、道路が出来てもおかしくはない。今の景観も昔に比べると変わってしまっている。

自分の住んでいる場所のことを考えると景観や環境に影響が無いとは言えない。

[要望等]

知事に現状を見て欲しい。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	~	29日(木) 21時
市町村名	池田町	グループ名	2班

要旨

地域高規格道路松本系魚川連絡道路池田町意見交換会 第2グループ

開催日時

第1回 10月 3日(水) 第2回 10月22日(月) 第3回 11月12日(月)

《合同報告会発表原稿》

まず、7名から寄せられた意見書を発表

A氏の意見

基本スタンスは従来言われてきた、地域高規格道路には賛成出来ません。

大町市南部以南のオリンピック道路が立体化整備出来ない場合、高瀬川左岸に対面各1車線時速60kmの立体化された道路の整備を提案します。4車線時速80kmの道路を求めるあまり、高瀬川の中に車線の一部をとるか、東山山腹を切り開いたり、トンネルを掘るとかの考え方には賛成出来ません。全路線を考える場合は、組合せによるものが、地域住民にとって最良のものとなっていると思います。

逼迫した財政状況の中、危機的財政状況を鑑みて、国も高速道路建設の見直し再検討を始めようとしています。地方も当然大型道路建設の再検討が必要となります。

1. オリンピック道路は国道147・国道19号のバイパスの役割を果たす信頼度の高い道路となっています。高速道路への車ばかりでなく、松本中心部商店街・オフィス街及び西部工場・官庁・オフィスへの重要な道路となっています。立体化整備出来れば将来も充分その役割を果たせるものと思います。
2. 大町北部以北については、交通量・地形・費用・防災・環境に対する影響等調査研究して、必要という事になり、財政との整合性がとれれば地域高規格道路を考えたいと思います。厳しい財政を考えれば、暫定2車線で着手すべきと思いますし、現道及び整備中道路を格上げ供用する場面も当然出てきます。地震に備え、活断層を避ける事も重要です。
3. 大町南部以南のオリンピック道路が立体化整備不可能な場合、又は国営アルプス安曇野公園の開園により、入り込み客が大幅に増加すると見込まれ、現道の整備ではさばききれない場合、高瀬川左岸を地域高規格自動車専用道路(時速80km)ではなく、高瀬川右岸のオリンピック道路以上の道路に整備して時速60kmの道路にする事を提案します。高瀬川の両岸に時速60kmの道路が併走する事になり交通事情は格段に向上します。安曇野は一体のもので、自然を第一に考えながら南北道路と東山から日本アルプスまで通ずる東西道路を整備・新設して、碁盤の目に模した道路網を作り上げる「安曇野広域高規格道路長期計画」(仮称)を願望しています。

尚、高瀬川左岸道路を整備する場合2つの問題があると思います。一つは安曇橋(明科~穂高町間)以南に如何にルートを求めるかと言う事であり、二つめは現在交通量のバランスの取れている豊科インター周辺に新しい道路が開通する事により、豊科インター~松本間の上がり道路に渋滞が発生しはしないかという事です。下り道路は平成18年に「あづみ野新橋」が完成予定ですので心配は薄いと思われます。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	29日(木) ~	21時
市町村名	池田町	グループ名	2班

要旨

B氏の意見

高瀬川左岸堤防道路に地域高規格道路の建設を希望する。地域高規格道路の計画は計画とし、当面、2車線供用道路とし、供用総延長を確保する。

インターを含むアクセスの部分には、十分な配慮をお願いしたい。専用バスの運行もお願いしたい。景観、生態系への配慮は十二分でなければならない。

もとより、このような巨大プロジェクトは100年の長期展望にたって計画するものである。

C氏の意見

地域高規格道路については意見交換の資料等で一定の知識を得たが池田町の将来のためにはあらゆる面から考えても左岸道路へ通じるC案の開通を強く要望したい。

騒音や環境には勿論配慮しなければいけないが、現在は一方通行で安全面でも問題があり地域高規格の幅員確保に支障が多ければ予算の縮小も考えて地域の要望の多い2車線の確保は是非必要である。

D氏の意見

地域高規格道路は必要ない

安曇野は、21世紀に残したい日本の風景の100番目に入っています。(NHK BS2001 3/17 PM 7:30~10:15 放映) 年間200万人(同放映)が訪れ、この景観に魅せられて永住する人達、別荘を構える人達が増えています。

ワサビ田・高瀬・中房・乳川の清流、早春譜に歌われているように“こころやすらぐ地”です。昔からの生活で鎮守の森や、国宝仁科神明宮、大きな屋敷林、道祖神そして温泉も、又、四季を通じて“こころ”を清楚にしてくれる北アルプス連峰。この世界に誇るこの景観を子々孫まで残してやるのが今に生きる我々の責務です。

現在、安曇野には5~6本の道路があります。(松本 大町間)東西間の一番広い所で、11.3km(安曇野ワイナリー 松本トンネル前R19号平瀬口信号)狭い所は大町の3.5kmです。南北の道路は、大部改良され、ラッシュ時でもひどい渋滞はありません。

むしろ、松本に入る東西間が渋滞になります。現状の5~6本の道路をさらに改良(歩道・自転車道・車道の専用レーン化、立体交差の増設、右折車の専用信号、梓橋の4、6車線化、R147号とR19号が交差する新橋信号機の変形交差点のJR篠ノ井線をくぐるトンネル化)で、松本 糸魚川間108.2kmはスピードアップされ、広域高規格道路1時間設定と、そんなに変わりなくなります。莫大な金をかけて道路を作っても、それ程経済効果(地元の)観光客の増加は見込めません。道路をこの狭い安曇野に、これ以上作るにより、車両が増え、排気ガス増加で、この安曇野がガスに覆われ、自然がなくなるのをなんとしても防がねばなりません。明科町の長峰山からの安曇野を見れば20m巾の広域高規格道路を作る余地のない事が判ります。

目先の利害に囚われず、必要性のない、金の無駄使いにならない事を要望します。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	29日(木) ~	21時
市町村名	池田町	グループ名	2班

要旨

E 氏の意見

まとめ

高瀬川左岸に(大町~池田~明科)の既存道を改良し、対面交通出来る右岸と同等の道路を望む。会染地区に東西の道路増設をプラスしたい。従って、左岸に地域高規格道路は必要ありません。

理由

安曇野の自然を守りたく思います。地球生態系は、人為的開発に非常に弱く、限界がある事を認知すべきである。

F 氏の意見

池田町には、主要道路の整備が充分でない県道が一本しかありません。道幅が狭く、歩道も狭く、大型車が路肩駐車さえぎっている道路です。

道路整備は、常に行っていかなければならないものであり、道路計画も車中心から、人間中心に変わってきています。池田町の県道整備が、早急に完全整備できないのであれば、移動が早く、中央分離帯のある安全な自動車専用道路を、新しく作るべきであると考えます。

21世紀は、中国・インド中心のアジアの世紀になるといわれています。環日本海産業の発展に取り残されないためにも、この地域に新しい道は必要だと思います。

私は、高瀬川左岸道路が、地域高規格道路として生まれ変わるのを強く希望しています。

G 氏の意見

松本 糸魚川 連絡道路について

高規格道路については、松本、大町間は(特に)不必要。なぜならば

1. 大町以南高瀬川より西側は、オリンピック道路、大系線、国道148号線、大型農道、山麓線と鉄道を加えて5本の幹線道路がある。
2. 安曇野の景観は、これ以上人工の手を加えると自然が失われ、美しさは台無しになる。観光面から見ても、マイナス、単なる通過線になり、空気が汚されるばかりで地域の活性化にならない。
3. 国の借金、一人500万とも云われ、長野県の借金は、一人72万円余り。まだ生まれてもいない赤ちゃんにまでも負担が及ぶと考えられる。国も高速道見直しに入っている。少子の時代、新規の道路は税金負担も重くなると思われる。現在の生活道路を整備して行くべきだと考える。(大系線は絶対に廃止にしないで)
4. 高瀬川左岸道路は一方通行で交通の役割を果たしていない。立体化を含めて、二車線の時速60km以内の道路にして欲しい。東西線の整備も。

税金は、公平に使って頂きたい。

道とは、本来人が行き来する為のもの。住民の生活道路を充実させて頂きたい。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 20時	29日(木) ~	21時
市町村名	池田町	グループ名	2班

要旨

次に3回の意見交換会で出された意見の発表

豊科インターで降りた車は池田方面には向かわず、明科を通過して長野方面に(19号にでた車は)、19号にでない場合は穂高方面へ流れる。そして堤防の道路へ。147号(国道)池田の県道、堤防道路が大町で1つにまとまると車が動かなくなる。必要であると思うが、自然も大切にしたい。

高瀬川左岸道路へ高規格道路をもってきてほしい。松本への通勤には時間がかかりすぎる。池田町には交通的利便性がない。交通利便性が良くなると町の活性化も進む。豊科は交通が便利なので活性化している。工場建設は伸びている町村は伸びている。池田としては交通の整備は過去失敗してきている。将来を見据えて地域高規格道路を願いたい。

白馬、小谷は災害などの代替道路がないので整備は絶対必要。池田町を通るようにルート変更をしてほしい。地域高規格道路として。

地域高規格道路ができると自分たちの子供達、孫達が主に使うようになる。自動車専用道路は、大北地域には必要。医療面から見ても地域高規格道路は必要。

池田だけではなく、全体を見て考えること。地域高規格道路は必要。池田の住民としては池田も道を通してほしい。

地域高規格道路は賛成だが、地域の活性化は考えていかなければならないと思う。

地域高規格道路ができると車が通過してしまい町の活性化にはならないのでは。町として活性化までも含めて考えると必要ない。

地域高規格道路でなく、高瀬川左岸道路整備で十分。波田 - 糸魚川の計画なら必要無い。

県道。国道の改修を優先。高規格道路が出来ることでJRが廃止になることが心配。観光の町か、住み良い町にするか考えて行かなければならない。